五星戦隊ダイレンジャー（1993～1994）

メディア	TV
ジャンル	特撮　アクション　ヒーロー
製作国	日本
色彩	Color
TV放映	1993/02/19 ～ 1994/02/11 金曜日 １７：３０～１７：５５ テレビ朝日

【解説】

“妖力”を自在に操り世界の支配を目論むゴーマが６０００年の時を超えて復活した。“妖力”に対抗するには“気力”しかない！　道士嘉翔（カク）に選び出された気力に優れる５人の若者達は五星戦隊ダイレンジャーに転身、それぞれが赤龍、獅子、天馬、麒麟、鳳凰の拳を駆使し、五体の気伝獣を操ってゴーマ怪人に立ち向かうのだった！

中国拳法をモチーフとした本作品は、スーツアクターの流麗な体術のみならず出演者達のハイテンションな演技にも支えられ、アクション主体のハイテンポな仕上がりとなった。

杉村升を中心とした脚本陣も快調に飛ばし、謎の集団ゴーマとダイ族の歴史、亮の父の死と大連王の出現、クジャクと大五の愛、亮と魔拳士ジンの死闘、キバレンジャーコウと新気伝獣の誕生、阿古丸とコウの母の秘密、超気伝獣ダイムゲンの復活と大神龍の出現、道士嘉翔とシャダムの秘密と、息をもつかせぬ展開が視聴者を画面に釘付けにした。また、ガレージキット並のクオリティを見せる固定ポーズのミニチュアを見事に組み合わせた迫力ある特撮シーンも忘れることはできない。

惜しむらくは全編を貫く主題を設定できなかったことで、意外性を狙いすぎたためにストーリーに無理が生じた感がある。特にシリーズ後半に提示された“光ある所闇もまた存在し、戦いは尽きることはない”という思想は、作品中で消化されたとは言い難い。

なお、本作品の勢いは後楽園ゆうえんちにおけるアクションショーにまで及び、亮ら５人が素顔のまま登場するに至った。以後、後楽園では必ず主人公５人が登場するシリーズが組まれている。

【クレジット】

監督	小林義明	
	坂本太郎	
	小笠原猛	
	渡辺勝也	
	東條昭平	
アクション監督	竹田道弘	（ジャパン・アクション・クラブ）
プロデューサー	梶淳	（テレビ朝日）
	鈴木武幸	
	白倉伸一郎	（東映）
原作	八手三郎	
脚本	杉村升	
	荒川稔久	
	藤井邦夫	
	高久進	
	井上敏樹	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

キャラクターデザイン	篠原保		
	マイケル原腸		
撮影	いのくままさお		
特撮監督	佛田洋		
視覚効果	映画工房		
美術	山下宏		
造型	前沢範		
編集	山口一喜		
音楽	川村栄二		
アクション	大藤直樹		
	喜多川務		
	蜂須賀昭二		
	石垣広文		
	村上利恵		（ジャパン・アクション・クラブ）
造型製作	レインボー造型企画		
特技・操演	鈴木昶		（（株）特撮研究所）
	尾上克郎		（（株）特撮研究所）
特技・撮影	高橋政千		（（株）特撮研究所）
特技・美術	原田洋		（（株）特撮研究所）
ナレーター	宮田浩徳		
出演	和田圭市	天火星亮／リュウレンジャー	
	能見達也	天幻星大五／シシレンジャー	
	羽村英	天重星将児／テンマレンジャー	
	土屋圭輔	天時星知／キリンレンジャー	
	高橋夏樹	天風星リン／ホウオウレンジャー	
	西凜太朗	シャダム中佐	
	天祭揚子	ガラ中佐	
	田村円	ザイドス少佐	
	酒井寿	吼新星コウ／キバレンジャー	
	成瀬富久	亀夫	
	中康治	道士 嘉翔（カク）	
	三輝みきこ	コウの母	
	桑原たけし	老道士 虞翻（グホン）	
	森下雅子	クジャク	
	幸田宗丸	ゴーマ１５世	
	柴田翔平	阿古丸	
	伊吹剛	鉄面臂張遼	
	広瀬匠	的場陣	
	上田忠好	田宝将軍	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.